



2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 住友理工株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5191 URL <http://www.sumitomoriko.co.jp/>
 代表者（役職名） 社長（氏名） 松井 徹
 問合せ先責任者（役職名） 決算税務部長（氏名） 佐藤剛司（TEL）052 - 571 - 0200
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		事業利益※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	115,500	△2.2	2,042	△31.6	1,930	△31.2	1,623	△37.1	△407	—	△793	—
2019年3月期第1四半期	118,093	7.0	2,984	6.9	2,807	△2.9	2,581	△4.3	1,476	3.9	997	1.1

※ 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益		売上高 事業利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%	%	%	%
2020年3月期第1四半期	△7.63	—	—	—	1.8	1.7	—	—
2019年3月期第1四半期	9.61	—	—	—	2.5	2.4	—	—

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	%
2020年3月期第1四半期	414,321	170,720	153,780	37.1	—	—	—	—
2019年3月期	397,279	176,598	158,319	39.9	—	—	—	—

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	10.00	—	4.00	14.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	7.00	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		事業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	230,000	△0.6	3,000	△32.8	2,500	△41.0	2,000	△50.6	1,000	△52.1	500	△54.3	4.82	—
通期	470,000	0.1	10,000	6.6	8,000	593.7	7,000	899.4	4,000	—	2,000	—	19.26	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	104,042,806株	2019年3月期	104,042,802株
2020年3月期1Q	214,525株	2019年3月期	214,409株
2020年3月期1Q	103,828,310株	2019年3月期1Q	103,829,174株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。